

■ 2024 年度事業計画書 ■

一般社団法人日本キンポールスポーツ連盟

I 事業期間

2024年4月1日～2025年3月31日

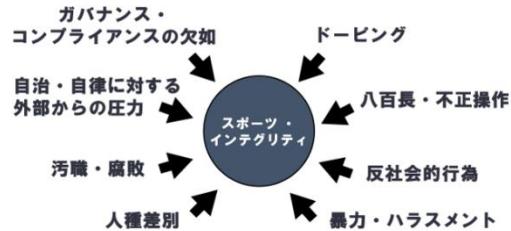
II 事業計画の前提

1. 基本方針

- ・キンポールスポーツがこれまで以上に広く社会に受け入れられるために、新しい事業および取組みに積極的にチャレンジしていく。
- ・今まで継続してきた事業および取組みの検証を行い、効果的な事業および取組みを重点的に実施する。また、成果が充分ではないと思われるものは見直しを行う。
- ・コロナ禍以降における会員、指導者、レフリーの大幅な減少などにより、活動のための費用が不足している。会員、指導者、レフリーの復活および新規獲得のため、資格等の失効者復活の特例化や都道府県連盟との協働による体験会・講習会開催、魅力のある資格特典の充実化等について具体的な対策を形にしていく。
- ・継続寄付クラウドファンディング・新規助成金の申請、新たな協賛企業の獲得等による資金調達も模索していく。あわせて、経費に関して、これまでの慣例にとらわれず節減できるところがないか、外部視点を基に検討、対応を試みる。
- ・スポーツ・インテグリティ※の保護・強化に向けた取組みを推進していく。ガバナンスの強化に取組み、健全で適正かつ合理的な組織づくりを執り行っていく。

※スポーツ・インテグリティ=「スポーツが様々な脅威により欠けるところなく、価値ある高潔な状態」

スポーツ・インテグリティを育かす要因



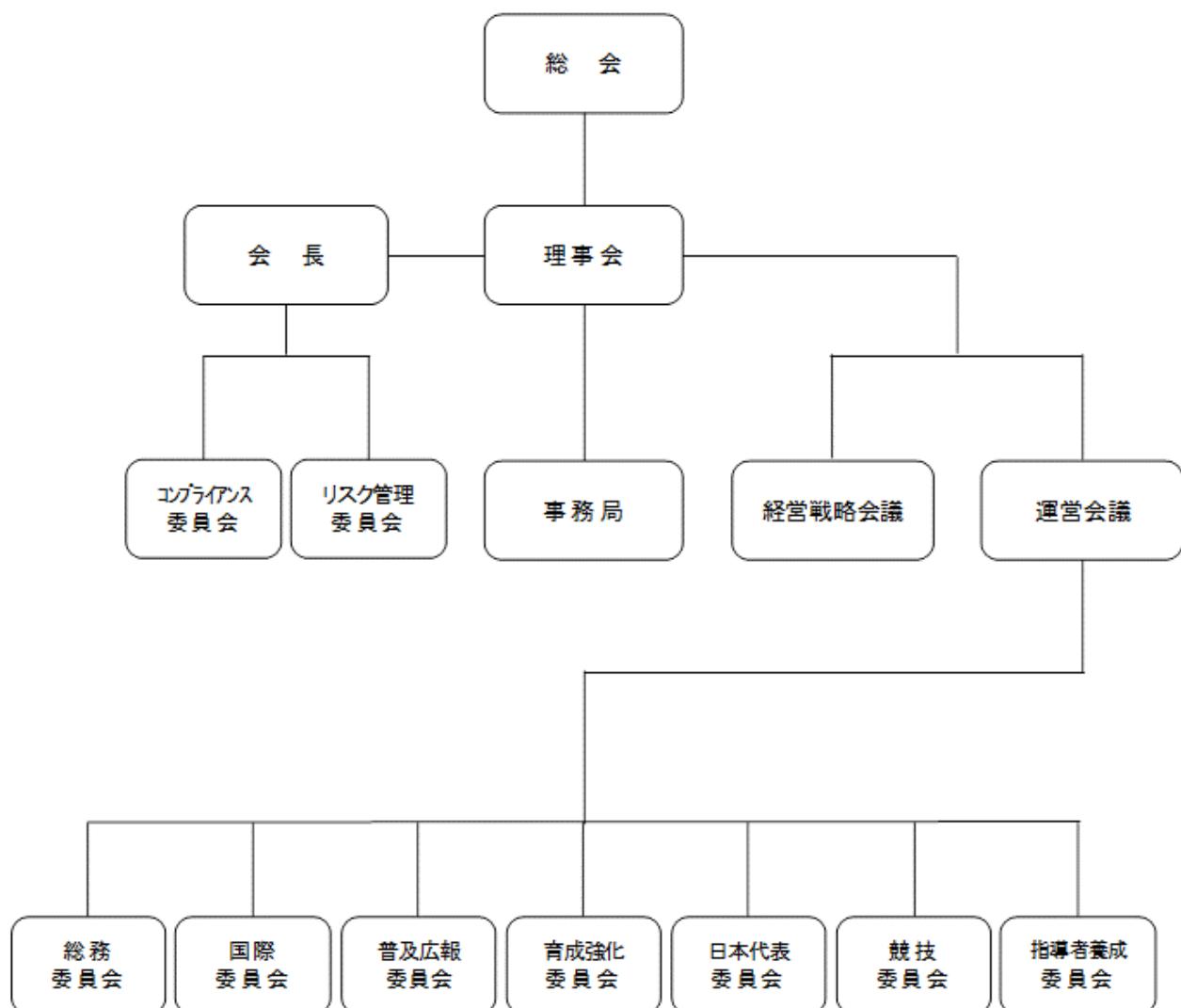
引用 独立行政法人日本スポーツ振興センターHP

<https://www.jpnsport.go.jp/corp/gyoumu/tabid/516/default.aspx>

2. 組織運営

- (1) 次世代へつなぐ当連盟の運営体制づくりのため、組織体制の見直しを行うとともに、年齢、競技歴を問わず最前線で指導的立場にある人材、優れた識見を有する人材、進取の気性に富んだ人材を登用することによって、組織全体の活性化を図る。将来を見越し、リーダーシップを発揮できる人材を育成する。
- (2) 総会、理事会で決定した事項の実施についての詳細は、運営会議で検討する。
- (3) 運営会議には役員、委員長、事務局が参加し、業務、任務にあたる。各委員会、事務局より運営会議に対して各種提案も行う。
- (4) 経営戦略会議において、中長期的経営の視点から安定した運営ができるように理事会に各種提案を行う。

● 2024 年度（当初）組織図



※年度当初の組織体系。統合、廃止等の見直しも適宜検討していく。

III 事業別計画

1. 主催事業 計 32 事業

(1) 大会主催 2 事業

①全国大会

【事業名】第 25 回記念キンボールスポーツジャパンオープン・フレンドリーカップ

【場 所】長岡京市西山公園体育館（京都府長岡京市）

【期 間】10月 5 日（土）、6 日（日）

【備 考】※独立行政法人日本スポーツ振興センター令和 6 年度（2024 年度）スポーツ振興くじ助成事業

②全国大会

【事業名】第 25 回記念キンボールスポーツジャパンオープン・チャンピオンズカップ

【場 所】J:COM 末広体育館（大阪府泉佐野市）

【期 日】2 月 22 日（土）

【備 考】※独立行政法人日本スポーツ振興センター令和 6 年度（2024 年度）スポーツ振興くじ助成事業

(2) 講習会主催 30 事業

【内 容】キンボールスポーツ体験の機会提供、ルール講習、指導者・レフリー養成、指導者・レフリー資格更新(移行)講習、愛好者のスキルアップ（ユース合宿、プレーヤー講習等）および各種試験

【場 所】全国

【対象者】一般希望者、愛好者、指導者、レフリー

【備 考】

①各地域の状況、希望に応じた内容の講習会を実施。状況に応じ、オンライン講習も実施。

②全国の都道府県連盟に呼びかけ、体験会・講習会開催を協働して行う。2022 年度からの指導者資格制度の移行も含め、指導者がレベル、年齢の違う幅広い対象者への指導を適切に行えるよう講習の受講、指導者資格の取得を促し、指導者の養成を行う。

※独立行政法人日本スポーツ振興センター令和 6 年度（2024 年度）スポーツ振興くじ助成事業

2. 講師派遣事業

【内 容】キンボールスポーツ体験の機会提供、指導者・レフリー養成、指導者・レフリー資格更新(移行)講習、愛好者のスキルアップ

【場 所】全国

【対象者】一般希望者、愛好者、指導者、レフリー

【備 考】各主催者の希望に応じた内容の指導を行う。

3. 普及推進事業

(1) キンボールスポーツ学校導入プロジェクト

【内 容】

キンボールスポーツを継続して取り入れてもらえるよう、体験および見学場所等の手配や教員指導のための講師派遣を行う。あわせて、文部科学省「土曜学習応援団」への賛同・登録を行い、全国の学校等にあわせて教育プログラムの提供を行う。

【場 所】全国

【対象者】小学校、中学校、高等学校教員、保護者ほか

(2) 加盟団体、会員への助成

【内 容】

- ①加盟団体（正会員である都道府県連盟）に対して、当該各都道府県在住者を中心とした普通会員所属者数に応じて会費還元金を各都道府県連盟に活動資金として支払う。
- ②加盟団体が大会・講習会開催、用具購入、その他普及・加盟団体運営活動に関して資金面で補助が必要な場合、会長に書面を持って申し出る。運営会議で審議後、必要に応じて補助・応援体制をとる。年に2回の申請時期を設ける。
- ③会員、加盟団体が大会・講習会開催、用具購入、その他普及活動に関して資金面で補助が必要な場合、会長に書面を持って申し出る。運営会議で審議後、必要に応じて補助・応援体制をとる。随時の申請が可能。

(3) 広報

【内 容】 キンボールスポーツのPR活動

【備 考】

- ①広報誌（会報）の制作・発送（1回）。年度末から新年度初めに実施予定。
- ②ホームページの管理、運営。通年実施。
- ③SNS（Facebook、YouTube等）の管理、運営。通年実施。
- ④各種イベントおよび催しでの展示紹介。随時実施。
- ⑤種目紹介、普及用のチラシ等の作成、配布。

(4) キンボールスポーツパートナー、スポンサー、個人寄付者募集

【内 容】

- ①パートナー団体、企業の団体名、ロゴマーク、キャッチコピー等が入ったキンボールを講師派遣講習会や大会において優先使用し、パートナー団体、企業が当連盟の諸活動へ協力、協賛していることを参加者や観戦者等にアピールする。
- ②パートナーおよびスポンサー団体、企業の横断幕、ポスター、ポップアップ看板の掲示、資料並びにサンプルの配布ブースの提供などにより、協力・支援団体をアピールする。
- ③キンボールスポーツ日本代表オフィシャルスポンサーとして、日本代表ユニフォーム、ジャージにスポンサーのロゴマークを掲出し、アジアカップ出場時だけでなく、合宿、壮行会等の公式行事参加時に代表選手ほか選手団が着用。
- ④継続寄付クラウドファンディングとして、普及推進、日本代表への継続的な寄付金募集をする事業を行う。計画に基づき、支援いただいた金額すべて（運営会社に支払う手数料、リターンに伴う経費及び管理事務経費を除く。）を普及推進活動、日本代表活動に使用する。

【期 間】 通年

(5) キンボールスポーツ普及協力

【内 容】 キンボールスポーツの用具、備品レンタル

【備 考】 希望者に対し用具、備品のレンタルを行う。

(6) グッズ企画

【内 容】 備品等の新商品企画立案

【備 考】 キンボールスポーツに関する備品の商品化を企画する。

4. 団体運営関連事業

(1) 諸会議

【内 容】当連盟運営、世界的なキンボールスポーツ普及等に関する事項についての審議

【備 考】

- ①定時社員総会 1回（6月22日）
- ②理事会 4回程度（5月26日、6月22日、10月、3月）
- ③運営会議 年8回程度
- ④経営戦略会議 隨時
- ⑤各委員会会議 隨時
- ⑥国際連盟会議、アジア連盟会議 隨時

(2) 主催事業および団体関連の保険加入

【内 容】主催事業および団体での保険加入

【備 考】

- ①年間契約（対象：主催大会・講習会／更新月：10月）の事業傷害保険を更新。
- ②役員、委員会メンバー、事務局スタッフのスポーツ安全保険（傷害、賠償責任）更新。
- ③団体賠償責任保険を更新。

5. 2024年度特別事業

(1) 日本代表チーム強化、派遣事業

【内 容】男女日本代表候補・代表チームの強化、ワールドカップへの選手団派遣

【備 考】

- ①日本代表候補合宿、日本代表合宿の実施
- ②2024年11月に韓国で開催されるワールドカップへの選手団派遣
- ③上記に付随する任務、業務

(2) 全国レクリエーション大会協力事業

【事業名】第78回全国レクリエーション大会2024 とちぎ

スポーツ・レクリエーション交流大会 キンボールスポーツ

【場 所】石橋体育センター（栃木県下野市）

【期 日】9月8日（日）

【備 考】主催：（公財）日本レクリエーション協会ほか
主管：栃木県キンボールスポーツ連盟

(3) ガバナンス強化事業

【内 容】

スポーツ庁作成のスポーツ団体ガバナンスコードを遵守し、スポーツ・インテグリティの保護・強化ができるよう、組織運営等に必要な規程、制度を整備および組織全体で理解し、適正な組織運営を確保する。あわせて、コンプライアンス研修、ガバナンス強化の勉強会を実施し、基本的な知識を身に付ける。

【備 考】※独立行政法人日本スポーツ振興センター令和6年度（2024年度）スポーツ振興くじ助成事業

(4) 指導者資格制度移行事業

【内 容】 2022年度からの指導者資格制度の変更、移行に関する対応および周知事業

【備 考】 2020年度からの継続事業

(5) 専門的知識習得事業

【内 容】

発育発達、栄養学、トレーニング論、メンタルトレーニング等外部講師による専門的講習会を実施

【備 考】 2024年度参加対象：指導者資格の有資格者、日本代表（候補）選手および当団体役員、委員

(6) スポーツ推進委員等への普及推進事業

【内 容】

生涯スポーツとして取り入れてもらうため、スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブなどに向けて講習会の開催および指導者の派遣

【場 所】 全国

【備 考】 加盟団体と協働して実施。

(7) 教員への普及推進事業

【内 容】 授業への取り入れ、サークルおよびクラブ発足に向けた教員向け講習会の開催

【場 所】 全国

【備 考】 協力団体と協働して実施。

(8) キンボールスポーツの新しい普及分野開拓事業

【内 容】 キンボールスポーツを通じて社会課題に取り組む事業の開拓

【場 所】 全国